

令和8年度 岐阜市立女子短期大学 国際コミュニケーション学科 学校推薦型選抜（一般公募） 小論文 問題用紙

問：下の図に示されるように、アメリカ合衆国は公式に4つの地域（Region）に区分されている。また下記の表は、アメリカ合衆国全体と各地域の代表的な州における、①世帯年収の中央値、②貧困率、③大学卒業以上の学歴を有する人の割合を示している。

この図と表から、表の①～③に関するアメリカ全体と各地域との差について整理したうえで、経済状況（年収と貧困率）と学歴との関係性について読み取れることを、解答用紙に600字前後で答えなさい（解答は横書きで記すこと）。

図. アメリカ合衆国における4つの地域および代表的な州の位置

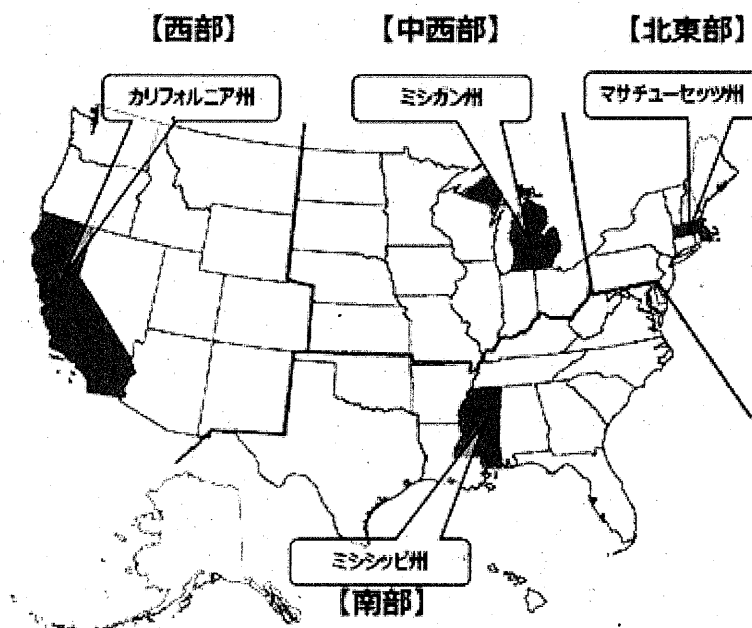


表. アメリカ合衆国における州別世帯年収の中央値、貧困率、大卒以上学歴者の割合（2019年）

州（地域）	①世帯年収中央値 （ドル）	②貧困率※	③大卒以上の割合
アメリカ全体	65,712	12.3%	33.1%
マサチューセッツ州 （北東部）	85,843	9.4%	45.0%
ミシガン州 （中西部）	59,584	13.0%	30.0%
ミシシッピ州 （南部）	45,792	19.6%	22.3%
カリフォルニア州 （西部）	80,440	11.8%	35.0%

※貧困ライン以下で生活をする個人の数の割合を意味する。

令和 8 年度 国際コミュニケーション学科

学校推薦型選抜(一般公募)小論文試験問題の出題意図

- ・図および表に示されたデータや事実を正確に読み取る能力を問う。
- ・読み取ったデータや事実を文章として適切に表現する能力を問う。

模範解答

世帯年収、貧困率、学歴は地域による差が見られる。世帯年収中央値を見ると、アメリカ合衆国全体では6万5712ドルである。それに対して北東部のマサチューセッツ州と、西部のカリフォルニア州はそれぞれ8万ドルを越え、全国平均を上回っている。それに対して中西部のミシガンと南部のミシシッピ州は6万ドル以下で、全国平均を下回っている。貧困率についてはその逆の傾向が見られ、マサチューセッツ州とカリフォルニア州はそれぞれ9.4%、11.8%と全米平均を下回り、ミシガン州とミシシッピ州は13%、19.6%と全国平均を上回っている。学歴について、大卒以上の割合は全米で33.1%であるのに対し、マサチューセッツ州とカリフォルニア州はそれぞれ45%、35%と全米の割合を上回っている。逆にミシガン州とミシシッピ州は30%、22.3%と、全米の割合を下回っている。ここから、北東部と西部はアメリカ全体と比較して年収中央値および大卒以上の割合が高く、貧困率が低いこと、南部と中西部はその逆の傾向を示すことがわかる。

この表からは、経済状況と学歴のあいだに関連性があることがわかる。この中で大卒以上の人びとの割合が最も高いマサチューセッツ州は、世帯年収中央値も最も高く、貧困率は低い。対照的に、大卒以上の人びとの割合が最も低いミシシッピ州は、世帯年収中央値は最も低く、貧困率が最も高い。表全体で見ると、大卒以上の割合が高ければ高いほど、世帯年収中央値が高く、貧困率は低くなっている。 607文字

配点要素 (それぞれ10点ずつ)

1. 北東部と西部 (マサチューセッツ州とカリフォルニア州) の世帯年収がアメリカ全体に比べて高いことを指摘している。
 2. 中西部と南部 (ミシガン州とミシシッピ州) の世帯年収がアメリカ全体に比べて低いことを指摘している。
 3. 北東部と西部 (マサチューセッツ州とカリフォルニア州) の貧困率がアメリカ全体に比べて低いことを指摘している。
 4. 中西部と南部 (ミシガン州とミシシッピ州) の貧困率がアメリカ全体に比べて高いことを指摘している。
 5. 北東部と西部 (マサチューセッツ州とカリフォルニア州) の大卒以上の割合がアメリカ全体に比べて高いことを指摘している。
 6. 中西部と南部 (ミシガン州とミシシッピ州) の大卒以上の割合がアメリカ全体に比べて低いことを指摘している。
- ※上記6点に関しては、アメリカ全体の比較でなくても、世帯年収や貧困率、大卒以上の割合の順位を列挙している場合でも OK
7. 大卒以上の割合が高いほど世帯年収中央値が高いことを指摘している。
 8. 大卒以上の割合が高いほど貧困率が低いことを指摘している。
 9. 全体として誤字脱字がない。
 10. 文章の書き方が洗練されており、読みやすい。

※以上の要素以外に解答者独自の考察が含まれている場合、それが妥当であれば適宜加点をしてください。「年収が低いことによって大学進学が阻まれている可能性がある」や、「大学進学率が低いいため年収の高い仕事につけていない可能性がある」など。